研究発表会

２年前よりニコニコハウスでは２月に研究発表会を行っております。それぞれが研究した内容を発表し、職員が発表内容に点数をつけ投票して順位を競います。一昨年は各事業所の代表が発表。昨年は事業所ごとの研究発表でした。今年度は趣向を少しかえ、所属事業所の垣根を越え、同じくらいの職歴の職員５名程度でチームをつくり課題を設定、研究に取り組みました。そして２月16日に発表会を行いました。

≪研究テーマと運営委員所感≫

①「地域活動」～ニコニコハウスでできること～
他の施設に見学にも行き、社会福祉法人でできることを学んでいました。子どもの貧困という実状にたどりつき、研修にも参加されていました。今後自分たちができることを具体的に導き出していたことが印象に残りました。

②「一方通行なコミュニケーションにならないためには？」
日常の些細なやりとりから、仕事に至る中でちょっとした「気付き」をテーマにしていました。新人職員チームの発表でした。新人だからこそのユーモラスなテーマであったと思います。みんなで作りあげようとしていた意欲が伝わってきました。

③「Ｉさんの変貌」
一人の利用者さんにスポットをあてての事例研究でした。その中で愛着障害について課題を掘り下げ、児童相談所に話を聞きにいったりしていました。Ｉさんが色々私たちに教えてくれているという視点、問題行動だと思っていたことが実はとても良い行動であるという振り返りはとても勉強になりました。

④「働いてみたい職場とは、働きやすい職場とは、働き続けたい職場とは？」
職場見学、法人内職員へのアンケートも実施され、具体的に今職員はどんなことを想っており、どんな職場が魅力的であると感じられるのか・・？ニコニコ

ハウスが取り組むべき課題を明確にしていました。

⑤「終末」と聞いて、皆さんは何を思いますか？
～生きるための終末、私たちにできることは～
個人の体験、支援で出会った事例をもとに掘り下げた研究となっていました。これまでに関わりのあった関係機関へのインタビューを通じての振り返りは、今後私たちが直面するだろう課題に対して、方向性をしめしてくれたように思います。

以上のようなテーマを６分で発表していきました。
どれも密度の濃すぎる内容であったため「もっと聞きたい！」という声もあちらこちらからあがりました。

そして恒例の順位発表！！　投票の結果僅差で「Ｉさんの変貌」が優勝。おめでとうございました。また他の班も優勝こそ逃しましたが、テーマ設定から研究内容、発表に至るまで外部の人にも聞いてもらいたい内容でした。このような力のある職員のみなさんと一緒にいられることをうれしく思います。みなさん本当にお疲れ様でした。来年も素晴らしい研究会になるといいですね。「えっ！来年もあるのですか？」という声も聞こえてきましたが・・。きっと気のせいですね。あと優勝チームは商品として食事券が贈呈されました。なんかスペイン料理食べにいくらしいですね。あっ！これは内緒でしたね。

運営委員より